

BB0035461


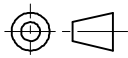

区分	標準仕様	耐塩害仕様	耐重塩害仕様	
熱交換器 (銅パイプ・アルミフィン)	樹脂系プレコートフィン (表面処理なし)	プレコートフィン (ブルー)	同 左	
キャビネット	前板	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板	同 左	
	側板	+ポリエステル樹脂塗料粉末塗装 (塗膜80μm)		
	天板	プレコート鋼板 (溶融亜鉛メッキ鋼板+表面塗膜高分子ポリエステル系 (膜厚26μm))	同 左	
	吹出グリル	合成樹脂製	同 左	
ベース (ドレンパン)	溶融亜鉛メッキ鋼板	同 左	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板+エポキシ樹脂塗料電着塗装 (塗膜20μm) +ポリエステル樹脂粉末塗装 (塗膜80μm以上)	
キャビネット 固定ネジ	外表面用: 冷間圧造用炭素鋼線・ステンコート処理 (ジンロイ+Kコート)	同 左	同 左	
電動機	溶融亜鉛メッキ鋼板	同 左	同 左	
ファン	合成樹脂製	同 左	同 左	
背面保護網	(無)	同 左	同 左	
基板	パターン面・部品面 (表面処理なし)	シリコンコーティング (パターン面・部品面)	同 左	
内部板金 (通風部)	溶融亜鉛メッキ鋼板	スポット部にアクリル樹脂塗料 無色透明塗装 (フィンガード)	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板+エポキシ樹脂塗料電着塗装 (塗膜25μm)	
配管ろう付け部	処理なし	同 左	アクリル樹脂塗料 無色透明塗装 (フィンガード)	
適用機種	RHK-10BD			
貯湯ユニット	天板	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板+ポリエステル粉末静電塗装 (塗膜40μm)	同 左	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板+エポキシ樹脂塗料電着塗装 (塗膜20μm) +ポリエステル樹脂粉末塗装 (塗膜80μm以上)
	前板	プレコート鋼板		プレコート鋼板+ポリエステル樹脂粉末塗装 (塗膜25μm)
	側板	(溶融亜鉛メッキ鋼板+表面塗膜高分子ポリエステル系 (膜厚22μm))	同 左	塗装用溶融亜鉛メッキ鋼板+エポキシ樹脂塗料電着塗装 (塗膜20μm) +ポリエステル樹脂粉末塗装 (塗膜80μm以上)
	後板			
	ベース	溶融亜鉛メッキ鋼板	同 左	同 左
	アシ	冷間圧延鋼板+エポキシ塗料によるカチオン電着塗装 (塗膜25μm) (塗装色: 黒)	熱間圧延鋼材+エポキシ樹脂塗料電着塗装 (塗膜20μm) +ポリエステル樹脂粉末塗装 (塗膜40μm以上)	同 左
	アシ固定ボルト	処理なし	エポキシ樹脂塗布	同 左
	ネジ	外表面用: (冷間圧造用炭素鋼線+3価クロメート処理+ZECコート)	同 左	同 左
基板	パターン面・部品面 (表面処理なし)	シリコンコーティング (パターン面・部品面)	同 左	
適用機種	RHK-T56BD			

- ・上記以外の部品仕様は標準仕様と同じです。
- ・蒸発器のアルミフィン変更の影響によって標準仕様より機器効率は若干低下します。
- ・仕様は製品改良の為、予告なしに変更する場合があります。

●留意事項

耐塩害 (重塩害) 仕様機を使用した場合でも、腐食、発錆に対して万全ではありませんのでユニットの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

- (1) 海水飛沫や潮風に直接さらされる場所への設置は避けてください。
- (2) キャビネット (外装) に付着した塩分は雨水による洗浄効果を損なわないように、屋根の下への設置や日除けなどの取り付けはしないでください。
- (3) ユニットのベース内への水の滞留は腐食を著しく促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に設置をお願いします。
- (4) 特に海岸地帯への設置品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- (5) 設置時・メンテナンス時に付いた傷は補修してください。
- (6) 機器の状態を定期的に点検してください。
(必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。)

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE	 Hitachi Appliances, Inc. Tokyo Japan
DWN. M. Osodo	2012-11-08		NTS	RHK-10BD, RHK-T56BD耐塩処理仕様表	
CHKD. S. Katagiri	2012-11-08			TOCHIGI DWG. No.	
APPD. S. Katagiri	2012-11-08			3YAA BB0035461	 REGD. 2012 1108